和元年度 第2学年 「総合的な学習の時間」 実施計画

日程				活動内容・活動目標	活動単位
4月17日 (水)			探究		
5月15日 (水)	-		探究	・昨年度3学期に、下記の5つの大テーマ群から、自分の進路に関連した大テーマを選択し、テーマ設定を終えている。それを踏まえ、グループで探究を進める。 ①文化(文学・思想、教育、芸術) ②社会(法、経済・経営、国際・外国語) ③技術(理、工、農) ④いのち(医・歯・薬・獣医、看護、家政・スポーツ)	
5月24日 (金) 4.5限			探究講演会 (1.2年)	⑤グローバルイシュー(英語での発表を前提とし、地球的規模の課題を取り扱う) ・探究テーマを、「SDGs」の指針に当てはめることで、探究過程において、グローバルの視点で課題解決を図ることを意識させる。	
5月27日 (月) 6限	探		探究	・1年間の探究活動の趣旨を理解し、探究の進め方や参考資料の当たり方について、大まかな見通しを持つ。 ・研究計画書の作成を通して、情報整理や記録の方法を習得する。 ・調査内容を持ち寄り、意見交換、探究、考察を継続する。	公 野型
5月29日 (水)	究に	進	探究	・多角的、批判的に考え、新たな視点や一人では気付かなかった論点を見出すことができるようになる。 ・課題に対して、最適なリサーチの方法、効果的な実証方法などを身に付ける。 ・「中間報告会」に向けて発表内容を精査し、報告会に必要な準備を行う。 ・外部導者による指導助言を通して探究の進め方を修正し、コース内発表会でのポスターセッションに	分野別
5月30日 (木) 4限	必	路志	探究	向けて、探究活動の方向性について共通理解を図る。 ・探究講演会(一般社団法人 Glocal Academy 代表理事 岡本尚也 氏)を行い、社会課題に対する関心と深い教養及び問題解決力等の国際的素養を育成し、社会の一員としての責務を自覚するきっかけとする。	
6月12日 (水)	要な	望や	探究		
6月18日 (火) 4.5限 6月26日	基礎的	興味	中間報告会	 これまでの探究過程やその成果を報告し、他者の客観的評価に基づき、今後の探究の方向性に見通しを持つ。 ・中間報告会での指摘を受けて、評価表をもとに、問いの設定や、考察、分析が適切であったかを自己評価するとともに、班内で調査内容の精査や修正、分析、評価、意見交換を継続し、探究を進める。 ・3年生のSGコースの生徒の英語概要発表や海外研修に参加した生徒の発表を聞き、今後の探究の進め方の一助とする。 ・夏季休業中は、探究過程で必要に応じてフィールドワークを行い、不足するデータを補完し、分析を深める。 	
(水) 7月19日 (金)		関	S G 発表会 海外研究報告会		全学年
夏季休業中		心	探究		
9月 4日 (水)	ス	に	探究		
9月18日 (水)	キ	応	探究		
10月16日 (水)	ル	じた	探究	・中間報告会での指摘を受けて、評価表をもとに、問いの設定や、考察、分析が適切であったかを自己 評価するとともに、班内で調査内容の精査や修正、分析、評価、意見交換を継続し、探究を進める。	
10月30日 (水)	の	探	探究	・夏休み中のリサーチを持ち寄り、協働によるデータの分析や探究を進める。	分野別
(水)	活	究	探究		
11月27日 (水) 12月11日	月用		探究	・外部指導者と適宜連携しながら指導助言を受け、より一層精度の高い探究を進める。	
(水) 1月 8日	711		探究	・ポスターセッションに向けて、発表リハーサル等、必要な準備を行う。	
(水)	_		探究		
(水)	_		探究 	・これまでの探究成果を広く内外に公表するとともに、外部指導者より専門的知見から問いの設定、探	
1月29日 (水) 4.5限			分野別発表会	完の進め方、分析の妥当性等に対する助言をもらうことで、論文を書くための基礎資料の一助とする。 ・各分野で優秀班に選ばれた班は、3月下旬に開催される「課題研究発表会」において発表する。	1.2年生
2月 5日 (水)			論文作成	大テーマ群「グローバルイシュー」選択者 左記以外の大テーマ群選択者	
2月19日 (水)	-		論文作成	・これまでの探究成果を英語で表現し、運用能力やコミュニケーション能力の向上を図る。 ・SGH 発表会に向けたデジタルデータの作成を行う。・これまでの探究成果を論文にし、問いに対する明確な答えを主張し、それを論証するためのスキルやアブストラクト(抄録)の作成するスキルの獲得を目指す。	分野別